

共同助成(兵庫県遊技業協同組合)

「発達障がいを持つ子どもと保護者への育成支援『六甲山の森づくり』」事業

自然体験学習やスポーツを通して発達障がいの子どもの生きがいを創造

発達障がいと診断される子どもの数が増えている。保護者へのケアを含め、その理解や支援のための環境を整えることは、すべての子どもたちが自分らしく生きていくために欠かせない社会的対策だと言える。兵庫県で総合型地域スポーツクラブを運営するNPOが、発達障がいを持つ子どもや親のための活動に精力的に取り組んでいる。



11月に開催したハイキングイベントを告知するチラシ



六甲山で様々な体験を通して森づくりの重要性を学んだ

発達障がいを持つ子どもと保護者に自然体験や学びの場を提供する事業

兵庫県神戸市東灘区にあるNPO法人「アスロン」は、3歳から80歳代の利用会員が約1,300名集う総合型地域スポーツクラブである。子どもは体操、サッカー、陸上競技、野球など、高齢者は貯筋運動体操などの活動を行っているが、その他にも知的障がいや発達障がいを持つ子どもたちの総合スポーツ教室を運営している。

また、社会貢献活動として、文部科学省の委託で兵庫県唯一の総合型地域スポーツクラブの拠点クラブとして選定され、教育委員会などと連携して学校支援活動に取り組んでいる。さらに発達障がい児のスポーツの場づくりを推進する事業、貧困者支援事業である朝食版子ども食堂「おむすびプロジェクト」、六甲山の森づくり活動など、様々な活動を実施している。

発達障がいと診断される子どもの数は年々、増加しているが、ほとんどの人がそうした子どもたちをどう理解し、どう接すればいいのかわからないのが現状である。また、発達障がいを持つ子どもの親のケアや、親同士が交流を持てるような活動も社会的課題となっている。同法人では、こうした課題に取り組むため、2018年度、AJOSCの助成を受け、発達障がいを持つ子どもと保護者の学びの事業として、子どもを対象にした自然体験学習やスポーツを媒介とした大人との交流、保護者を対象にした療育上の悩みを解決するための勉強会や相談会を実施した。

参加者からは、ぜひ来年も実施してほしいという声が多くあったが、こうした活動を通して同法人では支援していただける学識経験者やボランティアを増やし、「障がい者と健常者の共存社会研究委員会」設立に向けて歩みを進めたいと考えているという。

発達障がいを持つ子ども、親、さらに地域の大人たちが交流できるために

事業の具体的内容は、まず発達障がいを持つ子どもが自然体験を通じて自立を高める活動として、子どもとその保護者による「カケルサマーキャンプ」(2018年8月9~10日、丹波少年自然の家、参加者32名)、「GoGoハイキング」(11月11日、六甲山、参加者101名)を行った。これは六甲山の麓を災害から守るための森づくりの重要性を学び、自然に触れ合ったり、木を切ったり、根笹を刈ったりする活動である。

また、保護者の悩みを共有し、子どもの自立に向けた解決方法を探る活動として、学校終了後の将来にどのような問題点が起こるかに気づき、どんなことに注意して療育をしなければならないかを学ぶために、特別支援学校の校長を務める川田和子さんを講師に招き、「発達障がいをもつ子どもの社会的自立の在り方」と題する講演会(6月30日、芦屋市民センター、参加者22名)を行った。

さらに、障がい者と健常者が共存に取り組みサポート組織構築のための基盤づくり活動として、芦屋市レクリエーションスポーツ協会と連携し、「ふれあいスポーツチャレンジ」(2019年2月17日、芦屋市青少年センター体育館、参加者104名)を行った。これは発達障がいを持つ子どもたちと地域の大人たちがレクリエーションスポーツで交流するもので、その後、この活動を通じてレクリエーションスポーツに興味を持った子どもたちの中には、芦屋市レクリエーションスポーツ協会内の各クラブに継続して通うケースも出てきたということで、同法人では子どもたちの生きがいの創造にもつながったと振り返る。

兵庫県遊技業協同組合より

発達障がいを持つ子どもを対象としたレクリエーション、そして保護者向けの勉強会や相談会などの事業に賛同し助成しました。今後も活動の継続を期待しています。



発達障がいを持つ子どもの保護者向けに開催したセミナーのチラシ



特別支援学校の校長を招き講習会を実施したセミナーのチラシ

助成団体:特定非営利活動法人 アスロン

<http://www.athlon.jp/>



発達障がいを持つ子どもやその親への理解が進むことを願って

講習会、森づくりの両事業全般の運営資金や参加費を抑えるために助成を活用させていただきました。おかげさまで講習会やキャンプ、ふれあいスポーツチャレンジに参加された親同士の交流ができた、森づくりでは参加者が満足されていました。これらの活動の幅が広がったうえ、今後の活動継続に向けた体制の再構築にも役立ちました。感謝申し上げます。

特定非営利活動法人 アスロン
理事・ゼネラルマネージャー 松井 信治さん